

3年

数学科

令和8年度 指導・評価計画

月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	1章 多項式 8時間	<ul style="list-style-type: none"> ・(単項式)×(多項式)の計算ができる。 ・(多項式)÷(単項式)の計算ができる。 ・(多項式)×(多項式)の計算ができる。 ・乗法公式を使って式を展開することができる。 	(単項式)×(多項式)の計算 (多項式)÷(単項式)の計算 (多項式)×(多項式)の計算 乗法公式を使った展開	(単項式)×(多項式)の計算を正しくできる。 (多項式)÷(単項式)の計算を正しくできる。 (多項式)×(多項式)の計算を正しくできる。 乗法公式を使い、正しく展開ができる。	I I I I II	観点I 知識・技能 ・定期考査 ・授業での発言内容
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・因数分解の意味を理解する。 ・共通因数をくり出して式を因数分解することができる。 ・乗法公式を逆に使って式を因数分解することができる。 ・展開や因数分解を数の計算に応用することができる。 ・展開や因数分解を利用して、整数や図形の性質を証明することができる。 	因数分解の意味 共通因数を用いた因数分解 乗法公式を用いた因数分解 展開・因数分解を利用した数の計算方法 展開・因数分解を利用した整数の問題の証明 展開・因数分解を利用した図形の問題の証明	因数分解の意味を理解している。 共通因数をくり出して、因数分解ができる。 乗法公式を用いて、因数分解ができる。 展開を用いて、数のかけ算を工夫して計算できる。 展開・因数分解を利用して、証明をすることができる。	I III I II I II I III I II III	観点II 思考・判断・表現
6	2章 平方根 16時間	<ul style="list-style-type: none"> ・√の記号を用いて、数の平方根を求めることができる。 ・平方根の大小関係を理解し、不等号を用いて表すことができる。 ・平方根の近似値を求めることができる。 ・無理数・有理数の意味を理解する。 ・素因数分解の意味を理解する。 ・数を素因数に分解することができる。 ・根号をふくむ式の乗法と除法の計算ができる。 ・根号をふくむ数を√の中の数をできるだけ小さい数に変形することができる。 ・根号をふくむ式の加法と減法の計算ができる。 ・根号をふくむ式を展開することができる。 	数の平方根の求め方 平方根の大小関係 平方根の近似値 数の分類、√2が無理数になる理由 素因数分解の意味 素因数分解のやり方 根号をふくむ式の乗除の計算 根号をふくむ数の変形のやり方 根号をふくむ式の加法と減法の計算 根号をふくむ式の展開	平方根のを正しく求めることができる。 平方根の大小を不等号を用いて表すことができる。 平方根の近似値を調べることができる。 有理数・無理数の意味を理解することができる。 素因数分解の意味を理解している。 数を素因数分解して、正しく表すことができる。 根号をふくむ式の乗除を正しく計算できる。 根号をふくむ数を、√の中の数ができるだけ小さくなるように変形ができる。 根号をふくむ式の加減を正しく計算ができる。 根号をふくむ式を正しく展開できる。	I I II III I II I II III I II I II I	観点III 主体的に学習に取り組む態度 ・授業態度 ・問題集の提出状況・内容 ・単元テスト、小テスト ・宿題の提出状況・内容
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解の意味を理解する。 ・因数分解の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ・平方根の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を理解し、使うことができる。 	2次方程式の解の意味 因数分解を利用した2次方程式の解法 平方根の考えを利用した2次方程式の解法 解の公式を用いた2次方程式の解法	2次方程式の解の意味を理解している。 因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 平方根の考えを使い2次方程式を解くことができる。 解の公式を使い2次方程式を解くことができる。	I II III I II I II I II	・忘れ物の有無 ・定期考査
9	3章2次方程式 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式を利用して文章問題を解くことができる。 	2次方程式の文章問題の解法	文章問題を2次方程式をつくり解くことができる。	I II III	
	4章 関数y=ax ² 12時間	<ul style="list-style-type: none"> ・関数y=ax²の意味を理解する。 ・身の回りの事象からy=ax²の関係にある量を見だし、式に表すことができる。 ・y=ax²のグラフをかくことができる。 ・y=ax²のグラフの特徴や変域の対応を調べることができ、関数y=ax²変化の割合の意味を理解し、求めることができる。 ・関数y=ax²を利用して問題を解くことができる。 ・円周角の定理を理解する。 	関数y=ax ² の意味 身の回りの事象をy=ax ² の関係にあるとみて、この事象を式に表す方法 y=ax ² のグラフの書き方 y=ax ² のグラフの特徴 関数y=ax ² の変化の割合 関数y=ax ² と一次関数の融合問題 ・円周角の定理とその逆	関数y=ax ² の意味を理解している。 身の回りの事象をy=ax ² の関係にあるものとみることがができる。 y=ax ² のグラフを書くことができる。 y=ax ² のグラフの特徴を理解している。 関数y=ax ² の変化の割合を求めることができる。 関数y=ax ² と一次関数のグラフについての問題を解くことができる。 ・円周角の定理とその逆を使って角度を求めたり、証明に使ったりすることができる。	I II III II I II I II III I II III I II III	
10	5章 相似な図形 16時間	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の1辺に平行な直線と他の2辺に関する性質を理解する。 ・中点連結定理を理解する。 ・中点連結定理を用いて、図形の性質を証明することができる。 ・平行線と比の性質を理解する。 ・平行線と比の性質を利用して線分の長さを求めることができる。 	三角形の辺の長さの性質 中点連結定理の意味 中点連結定理の使い方 平行線と線分の比の性質 平行線の比の性質を使い、線分の長さを求める方法	平行を利用して、三角形の辺の長さを求めることができる。 中点連結定理を理解している。 中点連結定理を使い、辺の長さを求めることができる。 平行線と線分の比の性質を理解している。 平行線の比の性質を使い、長さを求めることができる。	I II I II III I II I II III I II	
	7章 円 16時間	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理の意味を理解する ・円周角の定理を使って、角の大きさを求めることができる。 ・円周角の定理の逆の意味を理解する。 ・円周角の定理の逆を利用して、図形の性質を証明できる ・円周角の定理を利用して、等しい大きさの角を作図することができる。 ・円周角の定理を利用して、接線を書くことができる。 ・円と交わる直線でできる図形について、成り立つ性質を証明できる。 	円周角の定理の意味 円周角の定理の使い方 円周角の定理の逆の意味 円周角の定理の逆の使い方 作図と円周角 円の接線の作図 円と相似	円周角の定理を理解している。 円周角の定理を使って、角の大きさを求めることができる。 円周角の定理の逆を理解している。 円周角の定理の逆を使い、4つの点が1つの円周上にあることやその他の図形の性質を証明できる。 円周角の定理を利用して、等しい大きさの角を作図することができる。 円周角の定理を利用して、接線を書くことができる。 円周角の定理を使い、図形の性質を証明できる。	I II III I II III I II III I II I II I II III	
12	6章 三平方の定理 14時間	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の意味を理解する。 ・三平方の定理を使い、辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆の意味を理解する。 ・三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるか判断することができる。 ・三平方の定理を利用して、平面図形の対角線の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、円の接線の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、2点間の距離を求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、空間図形の対角線の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、立体の体積を求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、最短距離の問題を解決することができる。 	三平方の定理の意味 三平方の定理の使い方 三平方の定理の逆の意味 三平方の定理の逆の使い方 三平方の定理を利用した平面図形の対角線の長さの求め方 三平方の定理を利用した円の接線の長さの求め方 三平方の定理を利用した2点間の距離の求め方 三平方の定理を利用した空間図形の対角線の長さの求め方 三平方の定理を利用した立体の体積の求め方 三平方の定理を利用した最短距離の問題の解法	三平方の定理の意味を理解している。 三平方の定理の使い方、長さを求めることができる。 三平方の定理の逆の意味を理解している。 三平方の定理の逆を使い、直角三角形かどうか判別できる。 三平方の定理を利用して平面図形の対角線の長さを求めることができる。 三平方の定理を利用して円の接線の長さを求めることができる。 三平方の定理を利用して2点間の距離を求めることができる。 三平方の定理を利用して空間図形の対角線の長さを求めることができる。 三平方の定理を利用して立体の体積を求めることができる。 立体の最短距離を三平方の定理を用いて解くことができる。	I II III I I II III I II I II I II I II I II III I II III	
	1	7章 標本調査 10時間	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性やその方法を理解する。 ・簡単な標本調査の実験を行い、母集団の傾向を読み取ることができる 	・母集団と標本調査 ・標本調査の方法	・標本調査について、模擬的な簡単な実験を行うことができる。 ・標本調査により、母集団の傾向を知ることができる。 ・母集団、標本、標本の大きさの意味を理解している。	II III I II I II III
2	これまでの復習 入試対策 13時間	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2, 3年生のまとめ問題を解くことができる。 ・入試予想問題解き、見直すことができる。 	・まとめ問題を解く ・入試予想問題を解く。	・これまでの学習内容について、理解できている。 ・予想問題に対して、意欲的に取り組むことができる ・既習事項をつかひ、入試問題を解くことができる。	I II I II III	
3	3年間のまとめ 2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの総復習をし、その問題を解くことができる。 	・総復習問題を解く。	・これまでの学習内容を振り返り、3年間の学びを理解することができる。	I II III	